

■介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の資格(受験資格を含む)が取得できる  
専門学校・養成校・大学・短期大学一覧(神奈川県内)

介：介護福祉士  
社：社会福祉士  
精：精神保健福祉士

種別	養成校	学科	所在地・URL・電話	介	社	精
専門学校	大原医療秘書福祉専門学校横浜校	介護福祉学科	横浜市神奈川区反町1-8-14 <a href="http://www.o-hara.ac.jp/senmon/iryu/hukushi.html">http://www.o-hara.ac.jp/senmon/iryu/hukushi.html</a> TEL:045-311-6821 FAX:045-324-3579	●		
	神奈川社会福祉専門学校	介護福祉科 社会福祉科	平塚市立野町1-10 <a href="http://www.kanafuku.ac.jp/">http://www.kanafuku.ac.jp/</a> TEL:0463-30-3231 FAX:0463-30-6595	●	●	●
	湘南医療福祉専門学校	介護福祉科(1部)	横浜市戸塚区川上町84-1 <a href="http://www.smw.ac.jp/index.html">http://www.smw.ac.jp/index.html</a> TEL:045-820-1329 FAX:045-820-1357	●		
	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	社会福祉専攻科(通信)	茅ヶ崎市西久保500 <a href="http://www.fureai-g.or.jp/gakuen/rehabili.htm">http://www.fureai-g.or.jp/gakuen/rehabili.htm</a> TEL:0467-88-6611 FAX:0467-88-6612		●	
	聖ヶ丘教育福祉専門学校	第一部介護福祉士養成科 第一部介護福祉士専攻科	横浜市保土ヶ谷区常盤台66-18 <a href="http://www.hijiri.ac.jp/">http://www.hijiri.ac.jp/</a> TEL:045-335-2312 FAX:045-334-5662	●		
	横浜国際福祉専門学校	介護福祉学科(1部)	横浜市青葉区さつきが丘8-80 <a href="http://www.yicsw.ac.jp/">http://www.yicsw.ac.jp/</a> TEL:045-972-3294 FAX:045-972-3298	●		
	YMCA健康福祉専門学校	介護福祉科 こども総合科人間福祉コース	厚木市中町4-16-19 <a href="http://yokohamaymca.ac.jp/health/">http://yokohamaymca.ac.jp/health/</a> TEL:046-223-1441 FAX:046-223-2101	●	●	
	YMCA福祉専門学校	介護福祉科 社会福祉科(通信) 精神保健福祉科(通信)	川崎市多摩区登戸3032-2 <a href="http://www.yokohamaymca.ac.jp/fukushi/">http://www.yokohamaymca.ac.jp/fukushi/</a> TEL:044-932-2015 FAX:044-933-3202	●	●	●
養成校	全国社会福祉協議会中央福祉学院	社会福祉士通信課程 ※社会福祉従事者として、現在働いている方を対象とした通信課程	三浦郡葉山町上山口1560-44 <a href="http://www.gakuin.gr.jp/">http://www.gakuin.gr.jp/</a> TEL:046-858-1355 FAX:046-858-1356		●	
	神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学部社会福祉学科 保健福祉学部看護学科	横須賀市平成町1-10-1 <a href="http://www.kuhs.ac.jp/">http://www.kuhs.ac.jp/</a> TEL:046-828-2500 FAX:046-828-2501	●	●	●
大学・短期大学	関東学院大学	文学部現代社会学科	横浜市金沢区釜利谷南3-22-1 <a href="http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/">http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/</a> TEL:045-786-8979 FAX:045-786-9472		●	
	鶴見大学短期大学部	専攻科福祉専攻	横浜市鶴見区鶴見2-1-3 ホームページ <a href="http://www.tsurumi-u.ac.jp">http://www.tsurumi-u.ac.jp</a> 携帯サイト <a href="http://i.tsurumi-u.ac.jp">http://i.tsurumi-u.ac.jp</a> TEL:045-581-1001 FAX:045-580-8299	●		
	田園調布学園大学	人間福祉学部社会福祉学科 人間福祉学部心理福祉学科	川崎市麻生区東百合丘3-4-1 <a href="http://www.dcu.ac.jp/">http://www.dcu.ac.jp/</a> TEL:044-966-6800 FAX:044-955-4345	●	●	●
	東海大学	健康科学部社会福祉学科	伊勢原市下糎屋143(伊勢原キャンパス) <a href="http://www.u-tokai.ac.jp/">http://www.u-tokai.ac.jp/</a> TEL:0463-58-6422 FAX:0463-50-2186	●	●	●
	日本女子大学	人間社会学部社会福祉学科	川崎市多摩区西生田1-1-1 <a href="http://www.jwu.ac.jp/grp/">http://www.jwu.ac.jp/grp/</a> TEL:044-952-6850 FAX:044-952-6869		●	
	明治学院大学	社会学部社会福祉学科	●東京都港区白金台1-2-37(白金キャンパス) ●神奈川県横浜市戸塚区上倉町1518(横浜キャンパス) <a href="http://www.meijigakuin.ac.jp/">http://www.meijigakuin.ac.jp/</a> TEL:03-5421-5151 FAX:03-5421-5185		●	●
	和泉短期大学	専攻科介護福祉専攻	相模原市中央区青葉2-2-1 <a href="http://www.izumi-c.ac.jp">http://www.izumi-c.ac.jp</a> TEL:042-754-1133 FAX:042-753-2087	●		

■情報提供機関

神奈川県保健福祉局地域保健福祉部保健福祉人材課 保健福祉人材グループ	横浜市中区日本大通1 <a href="http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/fukusi/1598/index.html">http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/fukusi/1598/index.html</a> TEL:045-210-4755 FAX:045-210-8857
神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉人材センター	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター 13F <a href="http://www.knsyk.jp/jinzai/index.html">http://www.knsyk.jp/jinzai/index.html</a> TEL:045-312-4816 FAX:045-313-4590
横浜市社会福祉協議会	横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター <a href="http://www.yokohamashakyo.jp/">http://www.yokohamashakyo.jp/</a> TEL:045-201-2096 FAX:045-201-8385
川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク	川崎市中区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター5F 川崎市社会福祉協議会内 <a href="http://www.csw-kawasaki.or.jp/contents/hp0109/index00780000.html">http://www.csw-kawasaki.or.jp/contents/hp0109/index00780000.html</a> TEL:044-739-8726 FAX:044-739-8740

注1)この一覧表は平成22年7月末現在の内容です。詳しくはお問い合わせください。  
注2)ホームヘルパーの養成講座については、点線内の社会福祉協議会合同ホームページをご覧ください。

■編集委員(初版作成時)

- 加藤 房枝 社会福祉法人 そよかぜの丘  
港南中央地域活動ホーム  
そよかぜの家 労務担当課長
- 炭電 美枝 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会  
横浜市泥亀地域ケアプラザ 所長
- 津島三代子 学校法人 横浜 YMCA  
YMCA 福祉専門学校  
介護福祉科専任教員
- 森 公美子 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校 教諭
- 鈴木 英夫 横浜市教育委員会事務局  
高等学校教育課 主任指導主事

- オブザーバー●
- 青木 良夫 神奈川県保健福祉部地域保健  
福祉課保健福祉人材班 主幹
- 協力者・団体●
- 社会福祉法人 清光会  
特別養護老人ホーム新横浜さわやか苑
- 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会  
横浜市泥亀地域ケアプラザ
- 社会福祉法人 横浜共生会  
障害者支援施設横浜らいず
- 社会福祉法人 社会の会  
障害福祉サービス事業所 SELP・社
- 横浜市立南高等学校

- 奥付●
- 介護の仕事を目指す応援ナビ  
介護のチカラ
- 初版 平成21年3月発行
- 改訂版 平成22年10月発行
- 編集 横浜市福祉人材確保事業高校生向け  
啓発資料作成委員会  
横浜市健康福祉局高齢在宅支援課  
〒231-0017  
横浜市中区港町1丁目1番地  
電話 045-671-3464  
FAX 045-681-7789

現役高校生がみた福祉の世界



大切なものは自分を思う気持ち、  
すると、人に優しい気持ちになってくる。  
そして、  
一人ひとりの大きな可能性へつながる。  
彼らがみてきた、  
そんな介護の仕事をご紹介します。

# 介護のチカラ

介護の仕事を目指す  
M Y W O R K I N G  
応援ナビ





## たくさんの介護のカチを見てきた私達の体験記

白杖をついている方、車いすを使用している方、酸素をしている方など、街の中でもこんな風景をよくみかけます。

そんな方々にちょっと手を差し出すと、「笑顔」が返ってきました。

さらに「ありがとう」という一言に元気づけられ、「手助け」に魅力を感じました。

福祉に関心を持つようになった私達に、今回、福祉・介護を『仕事』としている方々の職場を訪ねるチャンスがやってきました。

『人として向き合い、その人を理解し、その人らしく生きられるようにサポートをする。それが私達の仕事です』と答えた若いスタッフの笑顔が印象的でした。

暮らしの中の『手助け』は『介護』という仕事になっていくのですね。



● このパンフレットに紹介されている記事の内容と写真は、平成20年12月から21年3月にかけて取材、撮影したものです。当時、高校3年生の高瀬一輝さんと内田彩菜さん(横浜市在住)が、市内の高齢者・障害者施設を訪問。スタッフの仕事を見学したり、お手伝いをしてきました。DVDと合わせてご覧ください。

## CONTENTS

### ■ MY WORKING

- 介護福祉士 相田由紀子さん ..... 4
- 介護福祉士 宇納寿美さん ..... 6  
坂本ゆかさん
- 生活支援員 吉田万里子さん ..... 8
- 支援員 根本優人さん ..... 10

### ■ CAREER STEP

- 施設長 相内邦夫さん ..... 12
- 介護データBOX ..... 14

- ◆ 介護・福祉職場で働くときの資格
- ◆ 資格の取得方法と仕事内容
- ◆ 神奈川県介護福祉士等修学資金貸付制度について
- ◆ 介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の資格(受験資格含む)が取得できる専門学校・養成校・大学・短期大学一覧(神奈川県)
- ◆ 情報提供機関





**年齢を重ねてきた人の優しさ、温かさに触れるとき  
それまで味わったことのない感覚になると思います。**

介護をしてきた祖父の死をきっかけに「してあげたかったことより、できなかったことが多い。悔いを残さないよう介護の仕事に就こう。」と、相田さんは考えました。とは言っても経験も知識も、資格もありません。泥亀地域ケアプラザが近くだったの

で相談に行き、デイサービススタッフとして週2日から始めました。研修期間は、その日その日が目いっぱい状態だったと言います。しかし、デイサービスがどんなものかを理解し、体が自然に動くようになると相田さんは利用者やスタッフ

に、はっきりと話しかけられるようになりました。自分の思っていること、考えていることをきちんと相手に伝えていかないと介護は成り立たないと感じたからです。




**PROFILE**

相田由紀子さん

自宅で祖父の介護を経験したのが、福祉職をめざす一歩だった。泥亀地域ケアプラザのデイサービススタッフとして7年目。3年前に資格試験に挑戦し、介護福祉士に。



■相田さんの今日の仕事	8:00~	8:20~9:45	9:45~	13:30~	~16:30	17:00~
 泥亀地域ケアプラザスタッフ	●近くの住まいから出勤	●スタッフミーティングを経てその日のデイサービスに入る	●午前中は希望者の入浴介助、個々の手芸や対象・趣味活動などを支援する	●昼食をはさんで、全体での機能訓練体操・レクリエーションなどを担当したり、利用者個別にも対応する。 ※半日シフトの場合は~12:50で仕事を終える	●利用者を自宅に送り届け、ケアプラザに戻って片付けや翌日の準備をする	●帰宅



楽しい音楽と歌で過ごす午後のレクリエーション。相田さんは手拍子をしながら利用者に目を向けていました

「介護の仕事は、利用者さんに向き合う多くのスタッフとのチームワークの上に成り立っています。一人の力は小さくても、全員の力でその人の生活を支え、喜ばれる瞬間がこの仕事の魅力です。」

**変化が大きな一歩になる**

金沢区内の中学校、高校から多くの生徒がデイサービスの体験に訪れます。祖父母と別居の家族が増えているいま、10代が高齢者と接する機会はなかなかありません。互いに異世代との触れ合いを求めていると感じている相田さんは、あるエピソードを話します。

「ボランティアで来た高校3年の男の子です。わずかな時間だったにもかかわらず利用者さんと接したこ

とがきっかけになったようで、福祉の学校に進学しました。」

孫のような年代がそばにいて、利用者はワクワクするのでしょうか。中学生、高校生に利用者は微笑みかけたり、昔話を聞かせたりします。それがきっかけで会話に発展することは珍しくありません。

「年齢を重ねてきた人の優しさ、温かさに触れると、それまでに味わったことのない感覚になるのではないのでしょうか。私もいろいろと教えら



れ、利用者さんに福祉職として育てられているのが特徴ではないでしょうか。」

**しばらくすれば  
自信がきます**

泥亀地域ケアプラザのデイサービス利用者は一日に30数名。開所当時から通っている人や90歳代も多く、今年103歳の誕生日を迎えた人もいます。介護予防、自立支援で接してきた利用者の中には、シルバーカーから歩行用の杖になり、ついには自力で歩けるようになった人もいます。



「困っている人に手を差し伸べたい、その人の夢が実現できるようになりたい、という気持ちが何より大事だと思います。一人ひとりの持っている課題や、生きる上での考え方をしっかり把握するのがこの仕事の基本です。仕事に慣れて、目標に向かっていく自分を想像すれば自信も持てるようになります。焦ることはないです。」

若いのだから、がむしゃらでもいい。そうしたエールに聞こえました。

**■高校生・内田彩菜さんの現場ルポ  
ボランティアグループの訪問**

**●お年寄りとの会話の楽しさ**

お年寄りとの会話をするのが好きなので、相田さんが取り組むデイサービスの仕事に興味を持ちました。

利用者も職員もボランティアも、楽しそうに活動していました。

利用者が多くなるとサービスが画一的になりかねない、と聞いたことがあります。ここでは利用者個人の生活・価値観、個性をとて重視している印象を受けました。

ケアプラザに出入りするさまざまな人と関わり、楽しく働きながら、人生経験が豊富な利用者の方たちからいろいろなことを吸収できそうだからです。

わずかの時間しかその場になかったのに、人生を楽しむことの大切さを教えられた気分です(カッコ良すぎます)。



**■施設紹介 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会  
横浜市泥亀地域ケアプラザ**

平成11年5月1日の開所。45人/日規模のデイサービス(通所介護・予防通所介護)をはじめ、居宅介護支援や福祉保健に関する相談・情報提供(地域包括支援センター)や地域活動・交流を行っています。いきいきセンター金沢は福祉機器支援センター、金沢区福祉活動拠点、老人福祉センターを併設した複合施設になっています。

〒236-0021  
横浜市金沢区泥亀1-21-5 いきいきセンター金沢内  
■電話 045-782-2940  
■FAX 045-782-2959  
<http://www.hama-wel.or.jp/office/deiki/>





その人の暮らしがある「もうひとつの家」で、その人に必要とされる仕事を続けていくことが魅力です。

広いホールに琴の音色が響き、利用者がお茶を飲みながら聴き入っています。午後のレクリエーション・ティータイムのひとつ、宇納寿美さんと坂本ゆかさんは、テーブルを回って利用者に声をかけます。二人は平成20年4月に新横浜さわやか

苑の職員になりました。

来てくれてよかったよ  
あなたが一番だよ

「私は高校時代に、施設のボランティアに参加した程度の経験しかありません。調理の道に進んだのです

が、この仕事が気になって」福祉の現場をめざした宇納さん。利用者との出来事をうれしそうに話します。

「夜勤であるお部屋を巡回すると“来てくれてよかったよ”とその方が言うのです。心細くて寝付かれなかったのかもしれませんが。新人の私が顔を出しただけなのにホッとした表情をしてくれたので励みになりました。」

坂本さんは職員になったばかりのころ、頻繁にメモを取りました。利用者の名前、特徴などを毎日ノートに



PROFILE

宇納寿美さん(左)

調理師として働いていたが、福祉専門学校に進学。介護福祉士の資格を取得し、新横浜さわやか苑の職員になる。

坂本ゆかさん(右)

普通高校から福祉専門学校へ進学。介護福祉士の資格を取得し、新横浜さわやか苑の職員になる。

夜勤シフトの場合

■宇納さん・坂本さんの今日の仕事	9:50~	10:00~	12:00~	13:00~	~18:45	18:45~	17:15~	18:00~
	●出勤 仕事のしやすい服装に着替える	●担当するフロア、居室に向かい利用者の介助を始めるベッドでの寝返り介助、着替え、排泄・おむつ交換、入浴介助、食事介助、立つ・歩くなどの機能訓練など	●昼食の介助	●利用者それぞれの時間の過ごし方に合わせてベッドでの寝返り介助、着替え、排泄・おむつ交換、入浴介助、食事介助、立つ・歩くなどの機能訓練など	●一日のまとめ、利用者の様子などを記録する。夜勤担当者への報告など	●帰宅	●出勤 仕事に入る準備日勤スタッフとの申し送りなど	●夕食の介助 その後は就寝まで、入浴・着替え・排せつ介助、ベッドメイクなど 居室フロアの消灯後、見回り(深夜も実施)、仮眠

記録し、一日でも早く名前と顔を覚えようとしたのです。同じように利用者も、坂本さんの顔と名前を覚えようとしていました。ある日、利用者の一人から名前と呼ばれました。「名前を覚えてくださったのに感激しました。あなたが一番いいわ、とってくださった方もいます。」



面会に来る家族から、親(利用者)の暮らし方を聞かれたときは「私、頼りにされている。」と、心の中でガッツポーズをしたと言います。

想像以上に  
見られている安心感

利用者は、職員をよく見えています。「仕事に慣れるまでは肉体的精神的に参っちゃったときがあります。利用者さんが“どうしたの、元気ないね”と声をかけてくださって、気分が軽くなりました。」と宇納さんは言います。

利用者の平均年齢は80代半ばです。宇納さん、坂本さんは利用者の目



に「かわいい孫」として映ります。特別養護老人ホームの利用者と職員は家族も同然、とよく言われます。利用者として毎日接している二人には、納得できる言葉でしょう。

「私たちが利用者さんにいつも目を向けている以上に見られている、気を使ってもらっている、それがわ



かってきました。」  
見られている、つまり、頼りにされている。その人の暮らしがある「もうひとつの家」で、その人に必要とされる仕事を続けていくことがいちばんの魅力と二人は言います。

ずっと続けたい、  
自信がついたから

相内(あいな)邦夫施設長が「ここで(仕事を)やっていきたい?」と聞くと「やっていきたいです。」と二人。先輩職員、利用者、ボランティアなど多くの方が支えてくれる職場が気に入っていること、そして自信がついてきたことがその答えに込められていました。

■高校生・内田彩菜さん、高瀬一輝さんの現場ボランティアの協力

●きびきびと動く職員

職員がきびきびとしていて、利用者一人ひとりに細かく気配りをしていました。自分の身の回りのことほとんどすべてを出来る90代の方もいれば、多くの介助を必要とする利用者もいました。人それぞれに職員に求めるもの、生き方、さまざまなのだと実感しました。

●コミュニケーションが第一

誕生会に同席して、声をかける機会がありました。(私は)普段見かけない顔なので、入居の方は返事に困っていました。年齢も生きてこられた道もみなさん違います。じっくりとコミュニケーションをとってあげれば、互いの気持は通じ合えるのだと思いました。

●笑顔に笑顔が応える

新横浜さわやか苑のボランティア(登録者)は約170名。入所利用者が160名という大きな規模のため、職員だけでは十分なサービスを提供することが難しく「福祉施設のスムーズな運営には地域の人の協力が不可欠」(相内邦夫施設長)なのだそう。「楽しいから何年も続けています。」というボランティアの存在は頼もしい限りでした。



■施設紹介 社会福祉法人清光会 特別養護老人ホーム新横浜さわやか苑

平成16年8月1日の開苑。入所定員150名・短期入所生活介護10名の利用者を24時間体制で介護しています。「ゆとりある空間とおいしい食事、心温まる介護、充実した医療の提供」を理念に掲げています。JR新横浜駅・市営地下鉄新横浜駅から徒歩15分という恵まれた立地条件にあります。



〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町572-5  
電話 045-544-4165  
FAX 045-544-4173  
http://www.seikokai-fukushi.jp



利用者の生活をつぶさに見る立場ですから  
人に教えられ、人に興味を持ち、  
人が好きになります。

どのような障害のある人でも利用者としての自由と権利が尊重され、ごく普通に、その人の望む生活を送れること…横浜らしいが掲げる障害者支援施設としての位置づけに「ここなら、自分の思い描く支援の仕事ができる。」と吉田万里子さんは考え

ました。新潟の福祉専門学校に学び、さまざまな障害と向き合ってきた人たちがより健康で、楽しい日々を送るためのお手伝いができるのなら、と選んだ道でした。



PROFILE

吉田万里子さん

新潟生まれ。中学校時代に福祉に興味をもつ。長岡看護福祉専門学校を卒業し、平成20年4月より、横浜らしいの生活支援員としてスタートした。

福祉職デビュー5日目の夜勤体験

横浜らしいでは、3グループで24時間365日体制の支援を行います。新人、ベテランで組合せ、日勤・夜勤のシフトを組んで利用者と接します。横浜らしいの一員となって5日目、吉田さんは夜勤を初体験しました。「午後から勤務に入り、朝まで先輩職員の担当する利用者の支援を行いました。何が何だかわからないまま時間が過ぎました。」

夜勤シフトの場合

■吉田さんの今日の仕事	7:00	8:00~	9:30~	11:30~	13:30~	15:30~	18:00~	21:30~
<p>横浜らしいスタッフ</p>	● 近くの住まいから通勤。担当する利用者の部屋を訪ね、起床の介助をする	● 朝食を用意し、利用者の食事介助。後片付けもする	● リラクゼーションを中心に、利用者の希望で過ごす(洗たくを干す・たむ。散歩。音楽を楽しむ。喫茶店に行くなど)	● 昼食の準備に入る。利用者と一緒に職員も同じ時間に同じ食事を食べる	● 昼食後の片付けが済み、午後の自由な時間を利用者とともに過ごす	● ※夜勤スタッフとの交代連絡をするのも午後の時間帯。日勤シフトの場合はここで一区切り。夜勤者は利用者との入浴を行う	● 夕食の準備と利用者との食事・片付け。入浴日の方の介助など	● 夜の安全などを確認して消灯までの時間を過ごす。 ※横浜らしいでは「消灯」に決まった時間はなく、利用者それぞれに夜を過ごす

※23:00~5:00は職員の仮眠時間だが、その間も記録をまとめたり見回りをして翌朝の準備をするため仮眠時間・時間帯は職員により異なる。

5月以降は、吉田さん一人で利用者と接することになりました。「緊急の場合は助けを求めようと、先輩職員の携帯アドレスを教えてもらって臨みました。」と新人らしい素直な心境をのぞかせます。

その日のうちに反省、改善する

先輩職員は「利用者への支援は心が第一」であることを、身をもって教えてくれました。言葉遣いなどに配慮していますが、何かの拍子で軽い受け答えをしてしまうことも。利用者がそれを気にしていなくても「まさかと思ったらすぐに反省し、次から改善することの大切さを知りました。」



日々接する利用者から教えられ、学ぶことも数えきれません。新人として過ごした1年目は仕事を覚えることで精一杯。2年目は生活支援で重要な介助の技能を高め、3年目はプロの福祉職として自覚を深めていけるようにしたいと言います。

その人のために自分にできること

利用者との人間関係が深まるにつれて、生活支援員として思い悩むようになります。「その人(利用者)のために、自分にできることは何だろう?」という自問自答が始まるのです。いまの介助は十分ではなかったと吉田さん自身が反省する介助も、利用者にとっては十分(な介助)だった場合「ありがとう」と言われて満足してしまうといえます。「経験不足、力不足だからと言いついてしまう前に、もっとその人(利用者)が楽しくなる支援、生活にはりが出る支援はできないのだろうか、と考えるのです。」



利用者の生活をつぶさに見つめて、その人に必要な支援を行うのが生活支援員。人が相手の仕事ですからつねに課題があり、その解決を自分なりに探りながら日々の業務に臨んでいます。

利用者を受け入れてもらえるかどうか吉田さんはとても心配でした。しかし「吉田さん」と利用者から初めて呼ばれた瞬間、うれしくなったと言います。



お昼は全員揃ったところで「いただきまーす。」おしゃべりをしながら同じ食事を楽しんでいました

■高校生・高瀬一輝さんの現場ルポ 陶器に心をこめて盛り付ける

●その人らしさを大切に

いろいろな障害のある人にとって、自分が思うように日常生活を送るのは大変だと思いました。横浜らしいの職員は、その人が自分では自分でできることに支えていました。日常生活を何よりも大切に、その人の生き方を尊重していると感じました。

●時間をかけて築く信頼関係

見た目ではどんな障害なのかわからない人と、じっくり向き合って互いを理解しあい、コミュニケーションを深めるのが生活支援員という仕事なんだ、と少しですが理解できた気がしました。一人ひとりの利用者との時間をかけて信頼関係を築く仕事は、大変だけど魅力にあふれていると思いました。

●食器の触れ合う音にホッとする

10名前後が暮らす生活棟で、昼食の準備が始まりました。利用者愛用の湯飲みや箸などを確認しながら、運ばれてくる料理を陶器に盛り付けていきます。その気配を感じて、大きなテーブルのある居間に利用者が集まってきます。吉田さんたちスタッフは、その一人ひとりに声をかけ、食事を留意していきます。家庭的な雰囲気の中に心が和みました。



■施設紹介 社会福祉法人横浜共生会 障害者自立支援法障害者支援施設 横浜らしい

平成7年4月に開所。全国で初めて、身障福祉分野に小規模ユニット制を採用しました。24時間365日体制での施設入所支援(定員60人)、生活介護、短期入所、日中一時支援、施設入浴サービス、重度重複障害者デイサービスも実施しています。施設は障害者支援施設横浜らしい、新吉田地域ケアプラザとの複合施設になっています。



〒223-0056 横浜市港北区新吉田町6001-6  
電話 045-592-1011  
FAX 045-592-0105  
http://www.y-kousei.or.jp



**誰だって、はじめのうちはうまくいかないもの。大丈夫。続けていくうちに自信がついてきます。**

選りすぐった国産の食材を使って、利用者が作るパン、菓子、ケーキ、豆腐、納豆に味噌、うどん、ラーメン、餃子。SELP・社が取り組んでいる食の事業は年月を重ねていくごとにファンを増やしています。

は、福祉専門学校2年の時に実習でSELP・社へ。菓子部門でマドレーヌなどを作りました。「専門学校での実習先は、児童施設、高齢者施設などさまざまでした。卒業後の進路を考える上で実習はとも役に立ちました。」



PROFILE

根本優人さん

横浜生まれ。地元の高校を卒業後、横浜国際福祉専門学校へ。実習先の一つだったSELP・社を就職先を選んで3年目

■根本さんの今日の仕事	8:00	9:30	10:30	11:30~	12:00	13:00~	15:00~	17:00	
	● SELP・社に出勤。パンを製造する段取りを確認する	● 利用者との協力してパン作りが始まる。予約の多い時は配送の順番も考えながら、注文のあったパンを作っていく	● 利用者全員がきびきびと動く。根本さんは利用者からの質問に答え、全体を把握しながら仕事を進めていく	● 出来あがったパンが店頭並び、予約を受けた先への配送準備が整う	● 昼休み。食事をとりながら休憩	● 明日の作業の下準備。粉の量を計り、調合し、予約先の確認なども	● 夕方買い物に来るお客様に対応	● その日の作業や利用者さんの様子を振り返ってスタッフと意見交換 ● 閉店時間の前後は事務処理、日報の作成などをこなし、一区切りをつけて帰宅	

(注文の多い時などは7時前に出勤することもある)



及びません。技術、経験ともにパン作りの先生です。わからないことを聞けばちゃんとできるまで教えてくれました。」



一緒に仕事をして、覚えていく積み重ねが自分の成長につながる手ごたえを感じたという根本さん。職員の行動や言動・態度をよく見ている利用者との対等な関係で接することを心がけています。

「おいしいね」。  
ほめられると皆うれしい

パン部門で仕事をしている利用者は10名。根本さんと同じ支援員の永村美里さん、パートスタッフの新藤かほるさん、丸山みどりさんが加わって、毎日約60種類、予約の多い時には400個近くを作ります。

「生地ができました。」「後ろを通ります。」「オープンに入れます。」「焼きあがりました。」利用者は作業中も声をかけあい、互いに気を配りながら



進めます。

お昼が近くなってくると、お目当てのパンを求めてお客様が店にやってきます。「おいしいとほめられると、一生懸命に作ります。」と利用者の一人は自信たっぷりに話してくれました。

支援員という仕事

根本さんたちスタッフも利用者一人ひとりの様子を把握しながら声を出して作業をします。

根本さんの仕事は、その日の利用者一人ひとりの体調や気分などに気を配りながら、パン作りを通じて利用者に働く喜び、生きていく上での自信を感じてもらえるよう働きかけることです。利用者が日増しに自信

を深めていく姿を見守り、一緒に喜ぶ支援員の仕事はわかりかけてきた根本さん。「支えられているのは本当は僕の方なんだと思います。」と笑っていました。



■高校生・内田彩菜さんの現場ルポ  
人と人がつながっていく…

●一緒に働く職場の仲間

SELP・社を訪ねパン作りの現場を見学して、元気で明るい利用者さん=障害のある人、根本さんたち=仕事を覚えることを支える人、というイメージはすぐになくなりました。おいしいパンと一緒に作って、一緒に仕事をするを、こころから楽しんでいる仲間、という印象を持ちました。

●あいさつが自然にできる

地域ケアプラザもある施設全体の入口は一か所でした。SELP・社パン部門のみなさんのようにここへ通ってくる人、施設を使う人、職員、訪問者みんなここを通って出入りしているから自然にあいさつを交わし、人と人がつながっていくのだな、と思いました。

●自慢の味で地域とつながっている

パンや麺類、豆腐、菓子などの製造・販売を通じて地域とちゃんとつながっているんだ、という印象です。障害のあるなしに関係なく、地域の人もSELP・社で働く人も理解し合って暮らしているのだなあ、と感じました。



■施設紹介 社会福祉法人社 障害者自立支援法  
障害福祉サービス事業所SELP・社

横浜市中野地域ケアプラザとの複合施設で、平成10年5月に開所。料理研究家の辰巳芳子さんをアドバイザーに招き、パン・麺・豆腐・菓子製造、陶芸などの部門からなる別名「食の生活館」として地域に浸透しています。毎日約60種類のパンを製造、販売しています。就労移行支援(一般型)・生活訓練・就労継続支援(B型)・生活介護・短期入所を実施しています。



〒247-0015 横浜市栄区中野町400-2  
電話 045-897-2020 FAX 045-896-0713  
http://www.morinokai.or.jp



「おはよう」と迎えてくれた利用者の笑顔に  
何度も心の安らぎを覚えました

施設の子どもたちと暮らして

大学で福祉を学んだ相内さんは卒業後、民間企業に就職。結婚を機に、妻の勤める児童養護施設で子どもたちと生活をともにします。

「仕事から帰ってきたあとや休日に、よく遊びました。学園を飛び出して保護された子を警察に迎えに行き、入院中の子の世話もしました。いろいろな事情で親と離れて暮らす子どもたちが大人に求める心情を見つめるうちに、福祉の世界でやってい

こうと考えるようになりました。」

かわいがってもらえる職員になろう

養護老人ホームの生活相談員に転身したのは、それから間もなく。「朝、各部屋を回ってあいさつをすると“おはよう”と返ってくる。その笑顔がとても素敵で、寝不足の身体をシャキッ! とさせてくれました」。

高齢者施設に入所・通所する利用者の大半が、施設勤務の若い職員に優しいまなざしを向ける、と相内さ

PROFILE

相内邦夫さん

1952年生まれ。東北福祉大学社会福祉学科卒業。  
楽器メーカー営業職を経て、養護老人ホーム生活相談員として福祉の現場に一步を踏み出す。



■相内さんの歩み	1975年	1980年	1982年	1984年	1999年	2004年～
	東北福祉大学卒業 楽器メーカーに営業職として入社 ※1978年～80年、児童養護施設で子どもたちと生活をともにする	養護老人ホーム生活相談員になる	社会福祉法人清光会特別養護老人ホームさわやか苑生活相談員になる	さわやか苑の主任生活相談員に	さわやか苑の施設長補佐に	新横浜さわやか苑の施設長に ・1991年 社会福祉士資格を取得(全国社会福祉協議会通信教育) ・2000年 介護支援専門員(ケアマネジャー)資格を取得

んは続けます。利用者にかわいいと好かれる職員になることが、この世界では大事なことです。」

4年目からの自問自答＝福祉のプロへの第一歩

「ただただ突っ走る感覚で1年、2年、3年と過ぎていくものです。」と相内さん。利用者に対する日常の介護ができるようになり、利用者の家族の心情にも目がいくようになるのも3年が節目と言います。高齢者施設では入所者の死を看取り、それまでやってきたことへの無力感から悩む日々もありますが「利用者一人ひとりの“心の背景”を理解し、歩み寄り。同時に、親の心身の状態に心を砕く家族の介護も大事と考えられるようになるのは4年目くらいからでしょう。福祉のサービスをどこまで高められるか、自問自答が始まると思います。」

こうなれば、福祉のプロとしての自覚が芽生え、ひとまわり大きく成長できる。…相内さんの言葉は心強いエールです。



人を愛し、人に愛される仕事

福祉の仕事で一番大事なのはありのままの自分でいること、と相内さんは指摘します。「人に愛されるために心を開き、困った時は困った顔を、分からない時は素直に分らない、と言える人であってください。」

相内さんは「職員は私の宝物」と言います。若い職員はより一層大きな

人間に育ってほしいから「自分の力量を高め、どの施設でも通用する技量を身につける手段として資格取得をすすめ、そのための勉強の大切さを話します。」

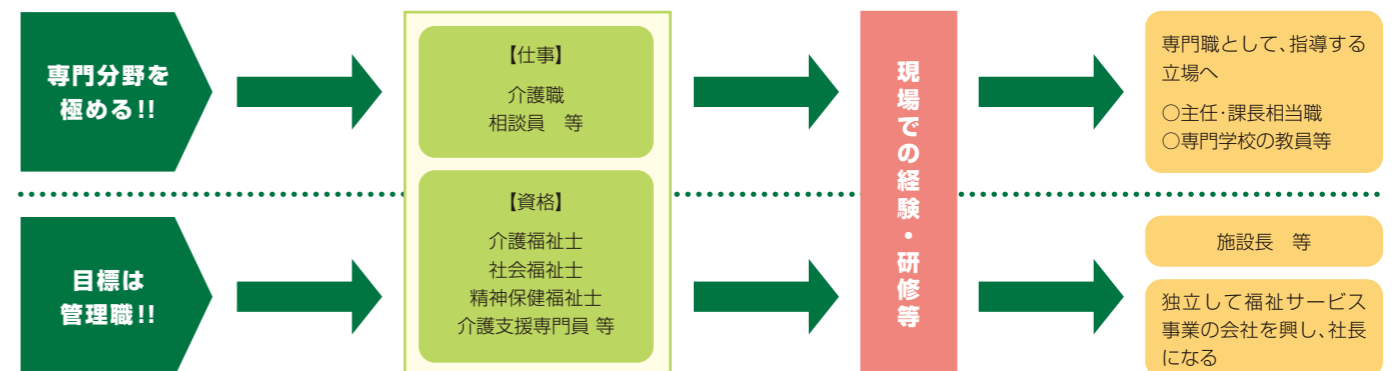


仕事に誇りと自信を持たせるために県、全国の施設研究発表大会への参加を勧めることもあります。「半年後は海外旅行に行くとか、5年後の自分を思い浮かべるとか。先を考えて仕事に打ち込むことも人としての成長につながります。」



新横浜さわやか苑の運営に欠かすことのできない存在が、多くのボランティアです(1階コミュニティホールで)

◆キャリアアップもいろいろ



# 介護データBOX

## 介護・福祉職場で働くときの資格

介護・福祉の職場で働くときに、実際に対人サービスを行う仕事や職種については、法令によって必要な資格が定められています。(一部には資格を必要としない職種もあります。)実際のサービス内容から、次のような体系の分野と資格(例)があります。



- (1) 直接支援系の仕事
    - ・高齢者、障害者(児)に対する介護業務…介護福祉士、ホームヘルパー
  - (2) 相談支援系の仕事
    - ・高齢、障害福祉などの分野での相談調整業務…社会福祉士
    - ・介護保険サービスのケアプラン作成…ケアマネジャー
  - (3) 保健・医療系の仕事
    - ・高齢、障害福祉などの分野での看護業務…看護師
    - ・リハビリテーション分野…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
  - (4) 栄養管理の仕事
    - ・高齢、障害福祉などの分野での栄養管理…管理栄養士、栄養士
- これらの資格についてその取得方法を次に紹介します。

## 資格の取得方法と仕事内容

### (1) 介護福祉士

- ①資格について
 

介護福祉士は、「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格であり、専門的知識及び技術をもつて、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法
 

ア養成施設ルート～高校等を卒業した後、指定養成施設で2年以上修学



イ福祉系高校ルート～必要科目履修した後、国家試験受験  
ウ実務経験ルート～実務に3年以上従事した後、国家試験受験  
※法改正が平成19年12月に行われ、平成24年4月以降は、ア、イの課程のカリキュラム時間数が増え、ウについても実務経験3年に加え養成施設で6か月以上の修学をしたうえで、全てのルートで国家試験を受験しなければなりません。

- ③仕事内容
 

高齢者や障害者の福祉施設などで、高齢者や障害者の心身の状況に応じた食事や入浴の支援や施設内での行事やレクリエーション活動など生活全般の支援を行います。
- ④実際の職種や就職先
 

高齢者や障害者の福祉施設(特別養護老人ホームや老人保健施設、障害者支援施設等)において介護職(ケアワーカー)として働きます。

### (2) 社会福祉士

- ①資格について
 

社会福祉士は、「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく国家資格であり、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行う者と規定されています。



- ②資格取得方法
 

ア福祉系大学等ルート～指定科目履修し国家試験受験  
イ養成施設ルート～福祉系以外の大学を卒業した場合、養成施設で1年以上修学したのち、国家試験受験  
※法改正が平成19年12月に行われ、福祉系大学での実習基準が21年4月から定められています。

- ③仕事内容
 

利用者等の相談や関係機関との調整を図り、問題解決に向けて支援をします。  
高齢者や障害者の福祉施設の相談員や児童福祉施設の指導員のほか、行政機関の福祉部門でケースワーカーとして相談業務を行います。

- ④実際の職種や就職先
 

高齢者や障害者の福祉施設の相談員や生活支援員のほか、児童福祉施設での児童指導員等や医療機関の相談員などとし



て働きます。このほか、都道府県、市町村の職員として福祉部門でケースワーカーとして働くこともあります。この場合には、各自自治体の職員となる必要があります。

### (3) 看護師

- ①資格について
 

看護師は、「保健師助産師看護師法」に基づく国家資格であり、傷病者等に対する療養上の世話又は診療の補助を行う者と規定されています。
- ②資格取得方法
 

看護師として働くには、看護師資格が必要となりますが、そのためには高校卒業後に看護系の大学、短大、看護学校などを卒業したのち、国家試験を受験します。



- ③仕事内容
 

社会福祉施設のほとんどの分野の事業所で利用者の健康管理業務や事業所の衛生管理の責任者として従事することになります。
- ④実際の職種と就職先
 

病院など医療機関の他、社会福祉施設においても、利用者の健康管理が不可欠であり、看護師が職員配置上必須となっている施設があります。高齢者や障害者の福祉施設ばかりでなく、児童福祉施設などでも働きます。

### (4) 理学療法士・作業療法士

- ①資格について
 

理学療法士、作業療法士は、「理学療法士及び作業療法士法」に基づく国家資格であり、身体に障害のある者に対して医師の指示の下に、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加える(理学療法)者、作業療法士は、身体又は精神に障害のある者に対して医師の指示の下に、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせる(作業療法)者と規定されています。

- ②資格取得方法
 

高校卒業後、専門の大学のほか、短大及び養成校において3年以上修学したのち国家試験を受験します。
- ③仕事内容
 

身体的な機能の回復のために必要な専門的な訓練や作業活動を計画し実際に支援を行います。
- ④実際の職種と就職先
 

病院など医療機関の他、社会福祉施設でも働くことができます。特に肢体不自由児施設や障害者支援施設等では職員配置上必要とされています。

### (5) 言語聴覚士

- ①資格について
 

言語聴覚士は、「言語聴覚士法」に基づく国家資格であり、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の



訓練、これに必要な検査及び助言、指導その他の援助を行う者と規定されています。

- ②資格取得方法
 

高校卒業後に指定養成所などで3年以上修学するほか大学などで2年以上修学で指定科目を履修したのち指定養成所などで1年以上修学をするか、一般大学を卒業後指定養成所などで2年以上修学したのち国家試験を受験します。
- ③仕事内容
 

病院等で、脳の疾患などが原因で人やもの名前を言おうとしても出てこない失語症や、声帯を切除し、発声に訓練が必要な者に対する訓練、あるいは、発音に障害がある、難聴があるといった、障害児・者に対する訓練などを行います。
- ④実際の職種と就職先
 

リハビリテーション科や耳鼻咽喉科を中心とした病院・診療所のほか、難聴幼児通園施設や重症心身障害児施設を中心とした社会福祉施設などで働くことになります。

### (6) 管理栄養士・栄養士

- ①資格について
 

管理栄養士は、「栄養士法」に基づく国家資格であり、傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導、個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門的知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善に必要な指導等を行う者と規定されています。



- ②資格取得方法
 

ア管理栄養士養成課程のある大学等で所定の課程を履修するか、栄養士としての実務に一定期間(1～3年以上)従事したのち、国家試験を受験します。  
イ栄養士養成課程のある大学、短大、専門学校で所定の課程を履修すると卒業時に栄養士免許が取得できます。
- ③仕事内容
 

食事の提供を通して、利用者の状況に応じた適切な栄養管理、栄養教育、給食管理を行います。
- ④実際の職種と就職先
 

高齢者や障害者の福祉施設、児童福祉施設など食事の提供を行う施設において、管理栄養士・栄養士として働きます。

### (7) 介護支援専門員(ケアマネジャー)

- ①資格について
 

介護支援専門員は「介護保険法」に基づく資格であり、医療、保健、福祉の各分野で実務経験を有している人材から養成することを目的としています。このため、介護福祉士や看護師等で各分野で一定年限の実務の経験を経た後、介護支援専門員実務者研修受講試験を受験し合格する必要があります。その後、都道府県が実施す

- る介護支援専門員研修を受講します。
- ②仕事内容
 

介護保険サービス利用に当たって必要なケアプラン(介護支援計画)を作成し、サービス提供事業者との調整を行います。
- ③実際の職種と就職先
 

介護支援専門員(ケアマネジャー)としてケアプラン作成とサービス利用調整業務に従事し、介護保険のサービス提供事業所で働きます。

### (8) ホームヘルパー

- ①資格取得について
 

都道府県や市町村やいは指定を受けた団体などが行っている訪問介護員養成研修を受講。この研修には介護職員基礎研修課程のほか、1級課程、2級課程の研修があり、いずれかを受講することが必要です。また、介護福祉士資格があればホームヘルパーとして活動できます。
- ②仕事内容
 

高齢者や障害者の自宅を訪問し、食事介助など直接の介護や掃除や洗濯などの家事援助を行います。また、高齢者施設などでの介護職としても従事できます。
- ③実際の職種や就職先
 

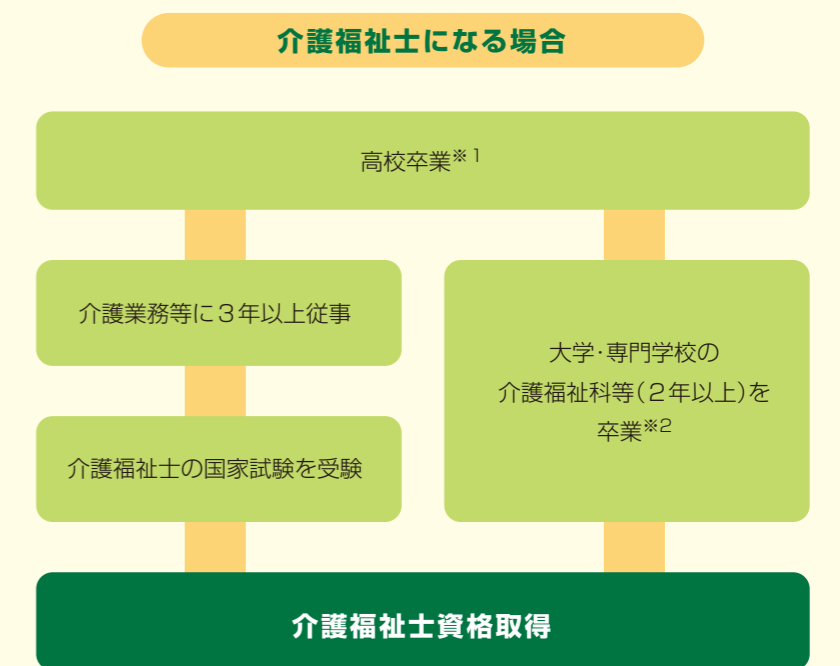
介護保険の訪問介護事業所のもとでホームヘルパーとして働いたり、特別養護老人ホームの介護職として働きます。



## 神奈川県介護福祉士等修学資金貸付制度について

- 福祉・介護の専門家を目指す皆さんを経済的に支援するため、介護福祉士又は社会福祉士の専門学校・大学・短期大学に入学する方への修学資金貸付制度  
※対象となる養成校については、ホームページをご覧ください。精神保健福祉士は対象となりませんのでご注意ください。
- 修学資金貸付(無利子)の内容  
月額5万円又は3万円、入学時・卒業時にそれぞれ20万円が加算(2年制課程での例)  
入学時20万円、月額5万円×24ヶ月、卒業時20万円 合計160万円
- 返還免除について  
卒業後、1年以内に資格取得し(不合格なら3年以内)県内の福祉施設就職で、介護又は相談援助の仕事に5年間従事した場合は、返還が免除となります。
- 詳しくは、神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材センター(電話045-312-4816)にお問い合わせください。  
<http://www.knsyok.jp/jinzai/sikin.html>

## ■介護福祉士資格取得フロー図



※1 在学中に所定の科目を取得することにより、介護福祉士国会試験受験資格を得られる高校(福祉科、社会福祉コース等)もあります。  
※2 今後は制度改正により、大学・専門学校を卒業した場合でも介護福祉士の資格取得には国家試験の受験が必要となります。  
詳しくは、裏表紙記載の学校・機関にお問い合わせください。